

2021年12月期 本決算説明会



スポーツ電動アシスト自転車
ニューモデル「CROSSCORE RC」

ヤマハ発動機株式会社
2022年2月10日
(証券コード:7272)

本日ご説明する内容

2021年12月期 本決算

代表取締役社長 社長執行役員
日高 祥博

● 業績予想について

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありえますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。

概要説明

経営総括

中期経営計画の総括

過去最高の売上高・営業利益

- ・各拠点・各部門が自律的かつ最適な判断のもと、需要回復を取り込む

収益性改善／財務基盤安定化

- ・DXによる効率化と生産性向上、グローバル生産体制の構造改革
- ・営業利益率 10.1%、ROE3年平均12.8%、自己資本比率 46.9%。

2022年の展望

需要環境と販売規模

- ・好調な需要が継続し、全事業で前年を上回る販売

損益分岐点経営の継続と定着

- ・半導体等の部品不足影響と、原材料・物流費等の高騰影響を想定
- ・限界利益率と経費率のコントロール
- ・プレミアム戦略の推進

財務戦略

- ・健全な財務体質を背景に、成長投資の加速と積極的な株主還元

2021年実績 経営状況

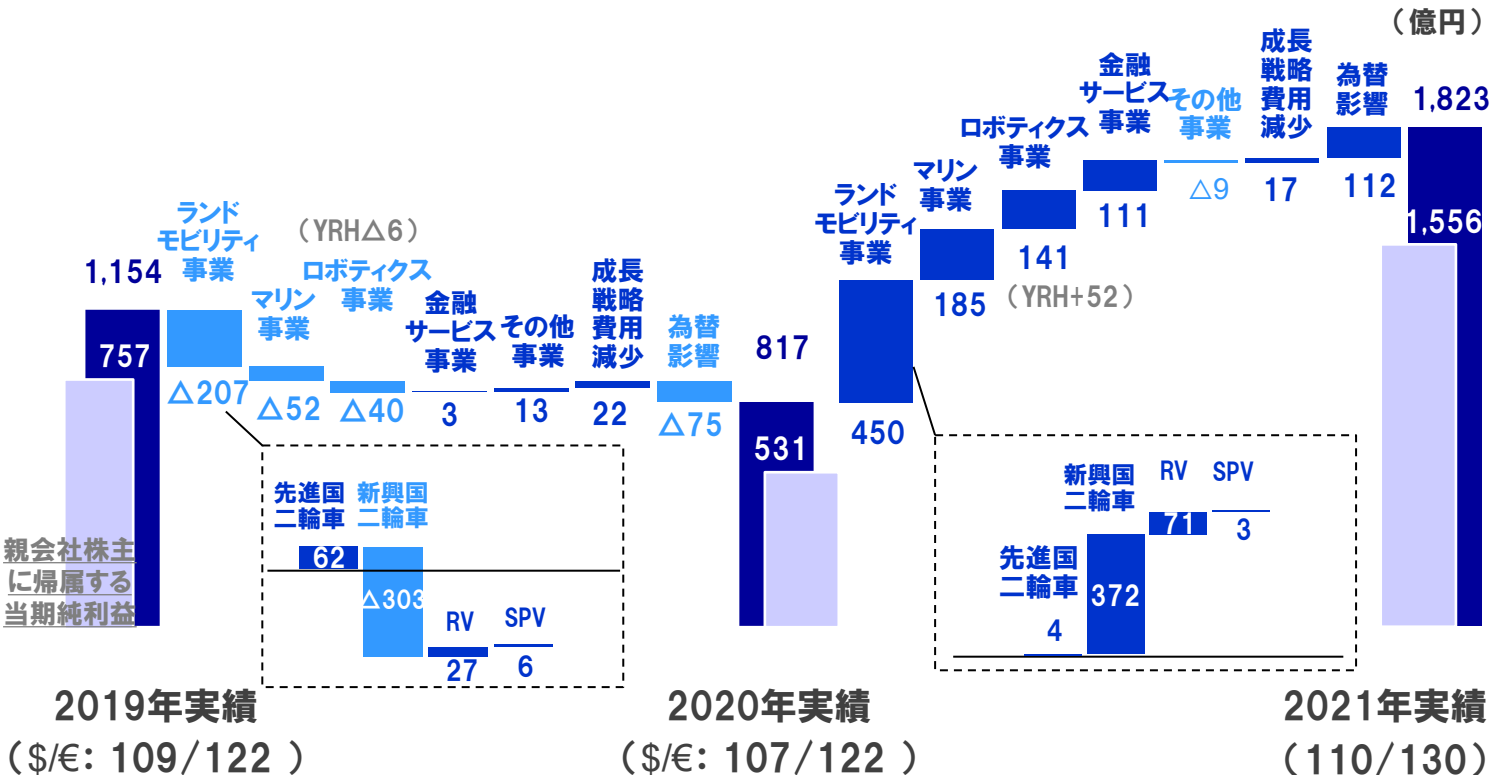
全事業で需要が急回復し、売上高・各利益ともに過去最高。
調達・生産・物流課題への迅速・柔軟な対応で、機会損失を最小化。

(億円)	2019年 実績	2020年 実績	2021年 実績	2019年 比	2020年 比
売上高	16,648	14,713	18,125	109%	123%
営業利益	1,154	817	1,823	158%	223%
営業利益率	6.9%	5.6%	10.1%	+3.1pts.	+4.5pts.
経常利益	1,195	877	1,894	159%	216%
当期純利益※	757	531	1,556	205%	293%
EPS(円)	216.83	151.89	445.67	205%	293%
(\$・€)	109・122	107・122	110・130	—	—
(\$/IDR・BR\$)	14,087・3.9	14,447・5.1	14,236・5.4	—	—

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

2021年 営業利益変動要因

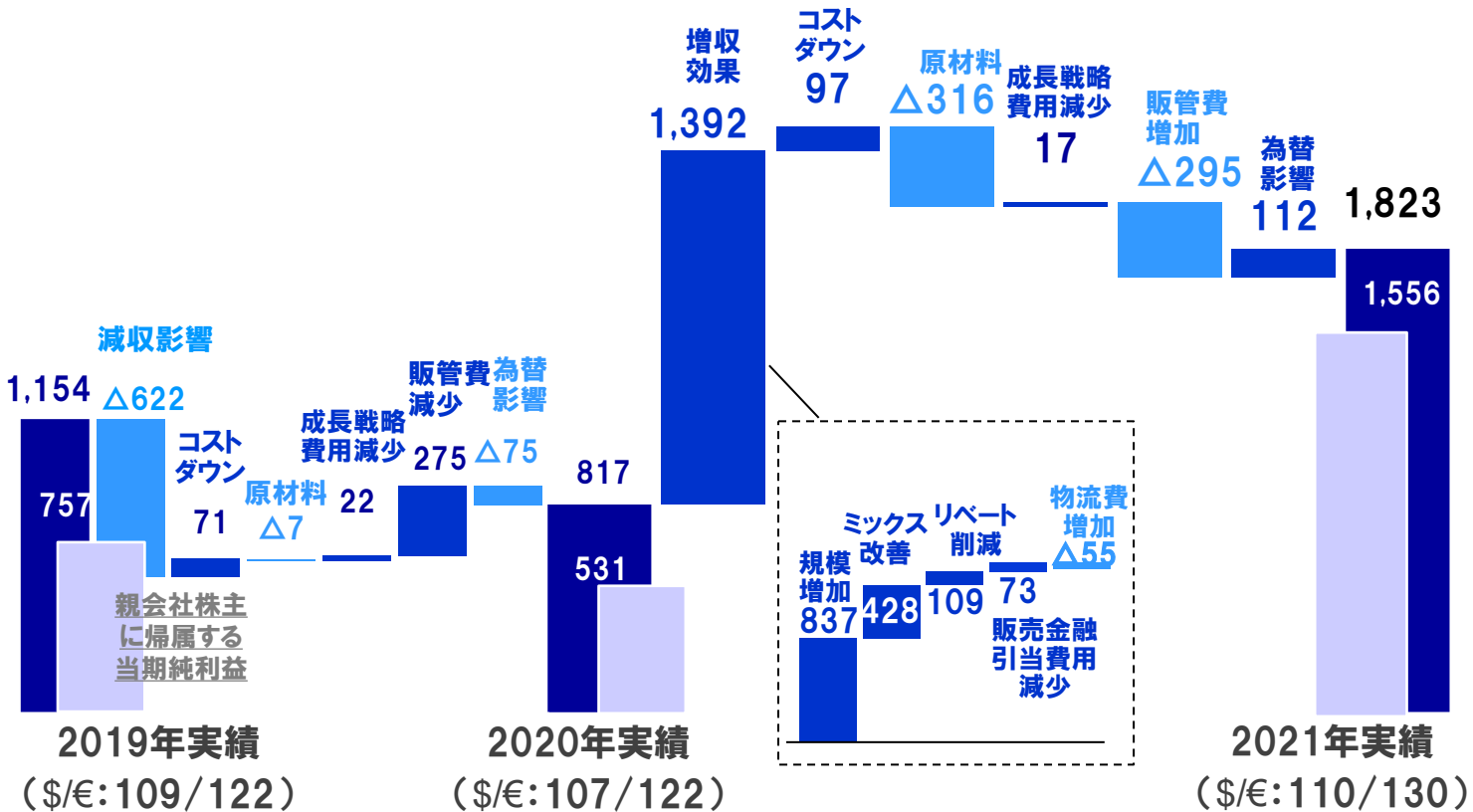
主要事業全てで増益。新興国プレミアム戦略が奏功。



2021年 営業利益変動要因（要素別）

ミックス改善が進み、原材料・人件費・物流費の増加を吸収。

（億円）



経營業績：2022年（年間予想）

需要回復の継続と生産・販売の増加で、売上高・営業利益ともに前年を上回る。
2019年比でも、力強い回復が続く。

（億円）	2019年 実績	2020年 実績	2021年 実績	2022年 予想	前年比
売上高	16,648	14,713	18,125	20,000	110%
営業利益	1,154	817	1,823	1,900	104%
営業利益率	6.9%	5.6%	10.1%	9.5%	△0.6pts.
経常利益	1,195	877	1,894	1,900	100%
当期純利益※	757	531	1,556	1,300	84%

（\$・€）	109・122	107・122	110・130	113・128
（\$/IDR・BR\$）	14,087・3.9	14,447・5.1	14,236・5.4	14,300・5.6

当社出荷台数（2022年 年間予想）

需要は好調の見通しだが、半導体不足等の1Q影響を年間で挽回する前提。

(2021年比)

(2019年比)

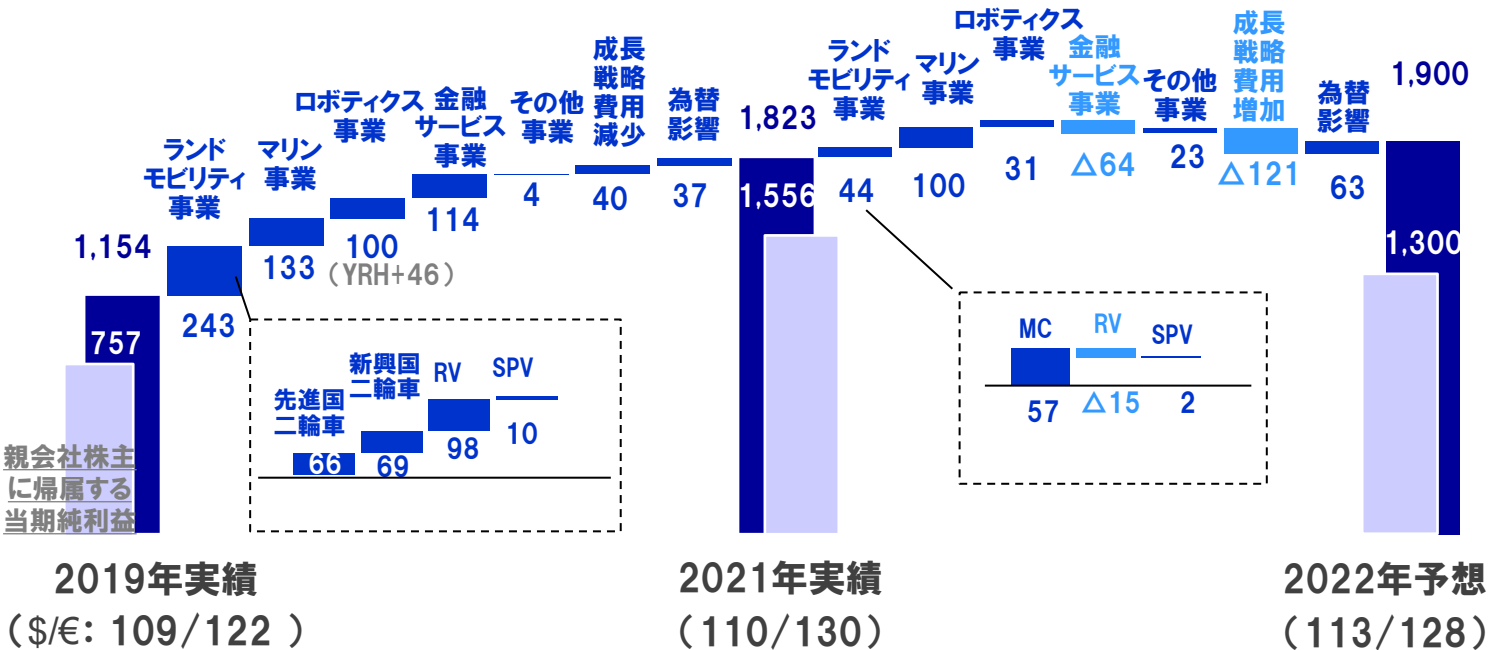
商品/地域		上期 見通	下期 見通	年間 見通
二輪車	欧州・米国・日本	95%	125%	110%
	インドネシア	90%	115%	100%
	タイ	85%	120%	100%
	ベトナム	90%	125%	105%
	フィリピン	80%	135%	105%
	中国	95%	130%	110%
	インド	110%	115%	110%
	ブラジル	75%	135%	105%
ATV+ROV	北米	105%	120%	110%
PAS		130%	110%	120%
船外機	北米・欧州	115%	110%	110%
マウンター		85%	140%	105%

上期 見通	下期 見通	年間 見通
105%	125%	115%
65%	85%	75%
90%	100%	95%
90%	85%	90%
65%	95%	80%
190%	140%	155%
75%	125%	100%
105%	185%	145%
145%	150%	150%
165%	140%	150%
110%	140%	125%
165%	185%	175%

営業利益変動要因（年間予想）

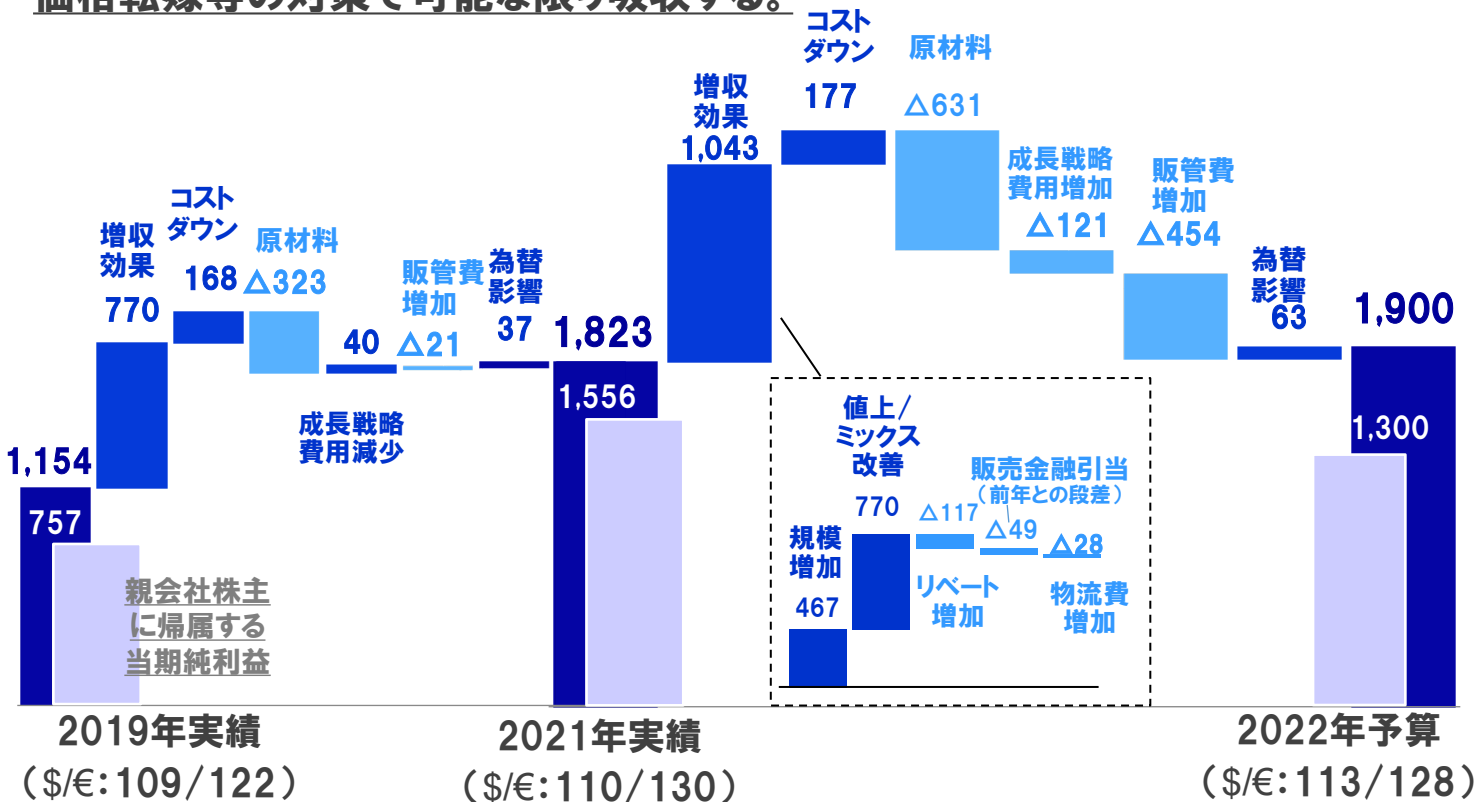
前年に一過性要因のある金融事業を除き、全ての事業で増益
新規事業開発、CN対応等、将来に向け成長戦略費用を増やす。

（億円）



2022年 営業利益変動要因（要素別）

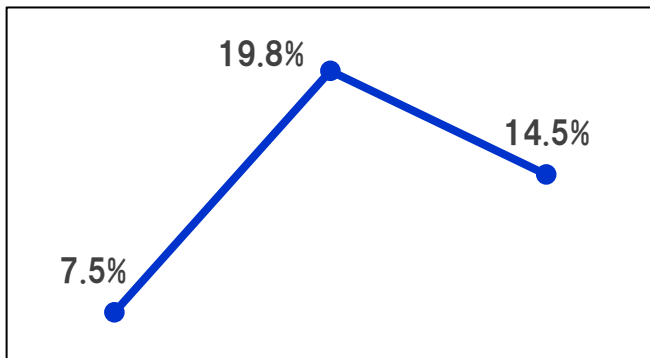
鉄・アルミを中心に原材料がさらに高騰。
価格転嫁等の対策で可能な限り吸収する。



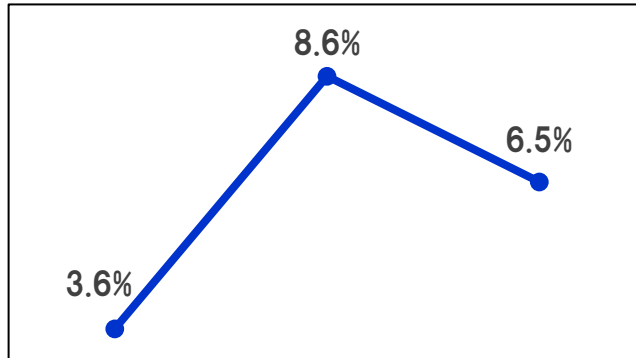
主要財務指標

業績回復と効率性・安定性の改善により、ROEが大幅に回復。

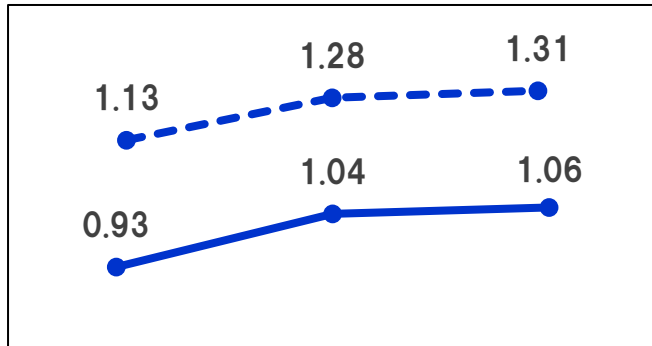
ROE



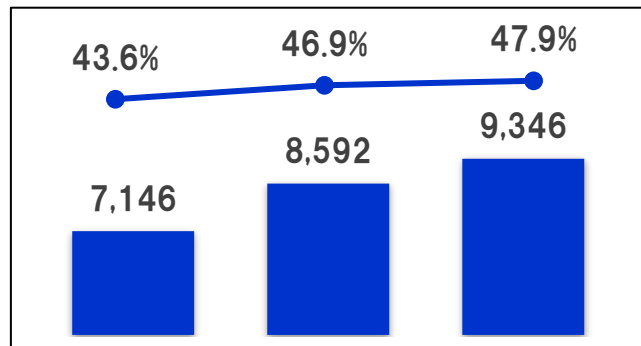
当期利益率



総資産回転率 (破線: 販売金融を除く)



自己資本(億円)・自己資本比率



2020年実績

2021年実績

2022年計画

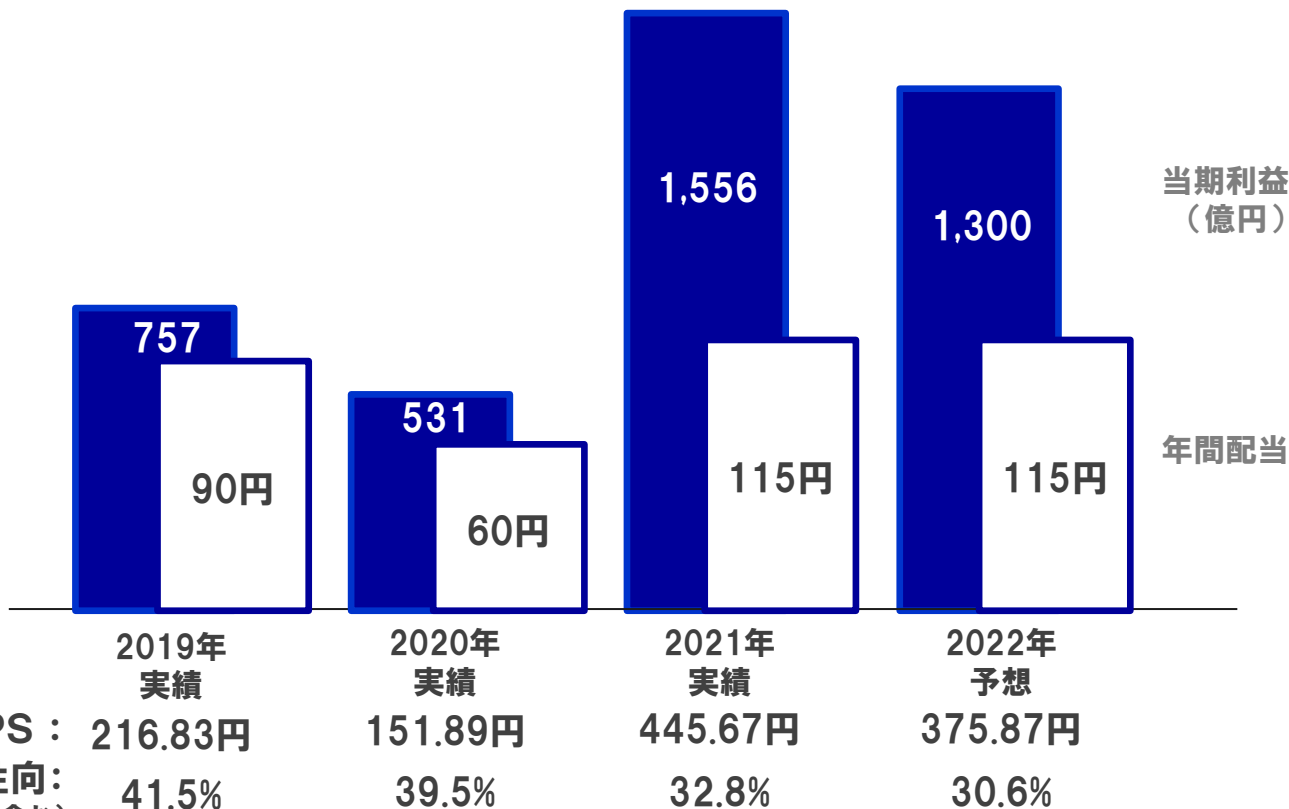
2020年実績

2021年実績

2022年計画

株主還元

好調な業績を受け、前回予想100円から増配。
2022年も、安定的・継続的に株主還元を実施。



事業別説明

事業別 売上高・営業利益

売上高

営業利益

16,648 14,713 18,125 20,000

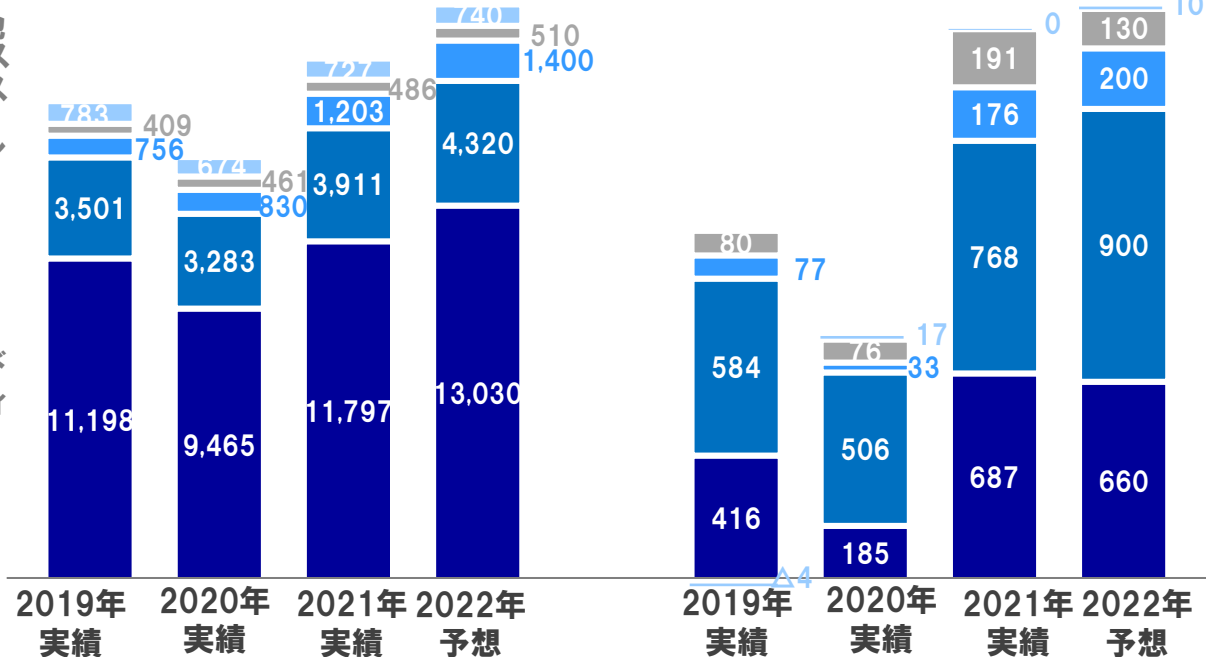
6.9% 5.6% 10.1% 9.5%

1,154 817 1,823 1,900

その他
金融サービス
ロボティクス

マリン

ランド
モビリティ



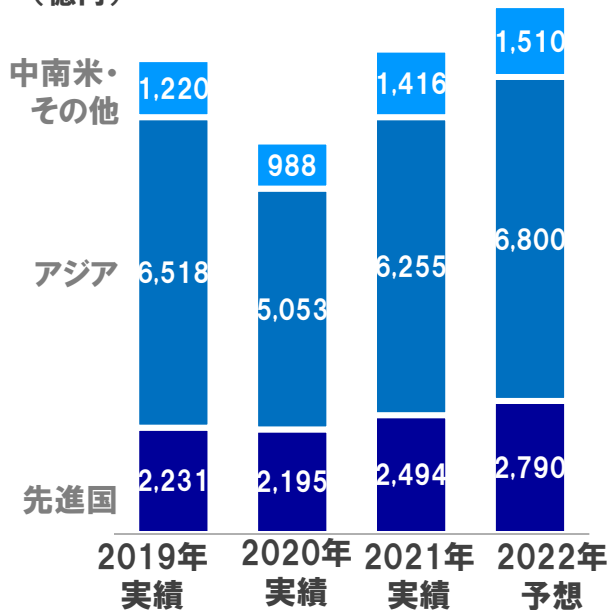
(億円)

(\$/€: 109/122)(107/122)(110/130)(113/128)

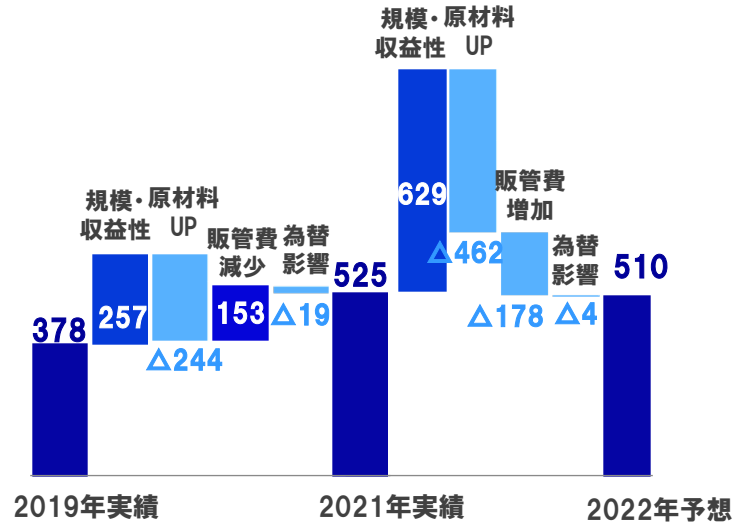
※「その他」に含めていたAMを「ランドモビリティ」と「マリン」に分割・集約したため、2019年数値を組替

先進国構造改革と新興国プレミアム戦略により、営業利益率向上。
原材料等コストアップに対し、規模・収益性を最大化。

営業利益率	3.8%	1.4%	5.2%	4.6%
売上高 (億円)	9,969	8,235	10,165	11,100



利益改善内訳



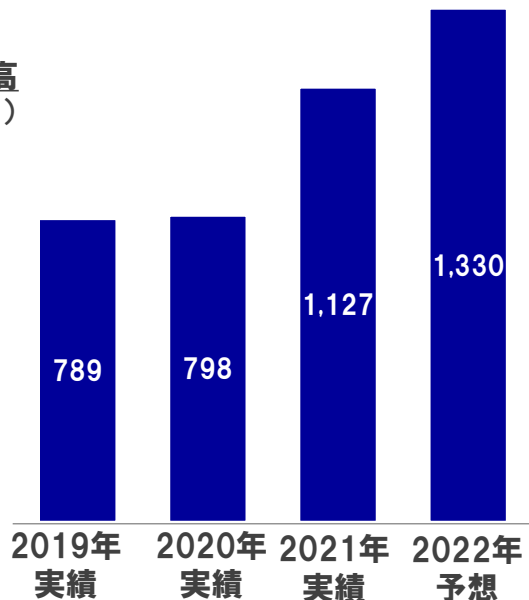
(\$/€: 109/122)(107/122)(110/130)(113/128)

RV事業

Wolverine RMAXシリーズ効果で、黒字化。
注力領域でブランド力向上とシェアを拡大。

営業利益率 $\Delta 3.3\%$ $\Delta 0.5\%$ 7.5% 5.6%

売上高
(億円)



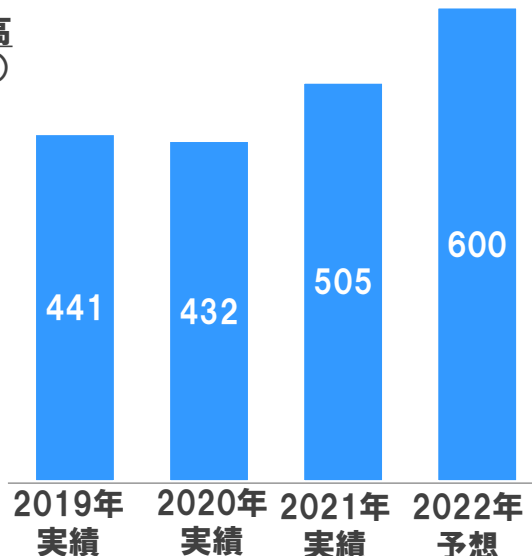
(\$/€: 109/122)(107/122)(110/130)(113/128)

SPV事業

市場拡大にあわせ、着実に規模が拡大。
事業成長を加速していく。

営業利益率 14.6% 16.2% 15.4% 12.5%

売上高
(億円)

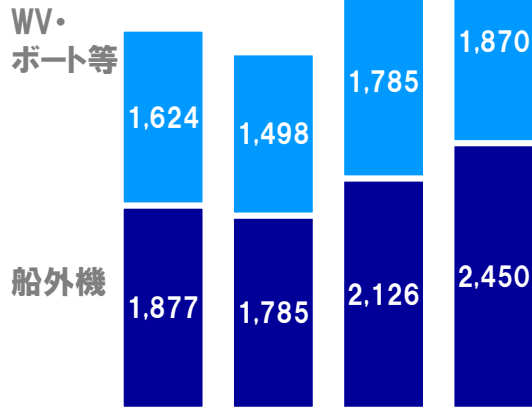


マリン事業

大型船外機の需要堅調とWVの供給課題解消により、過去最高益。
2022年もフル稼働で供給を進める。

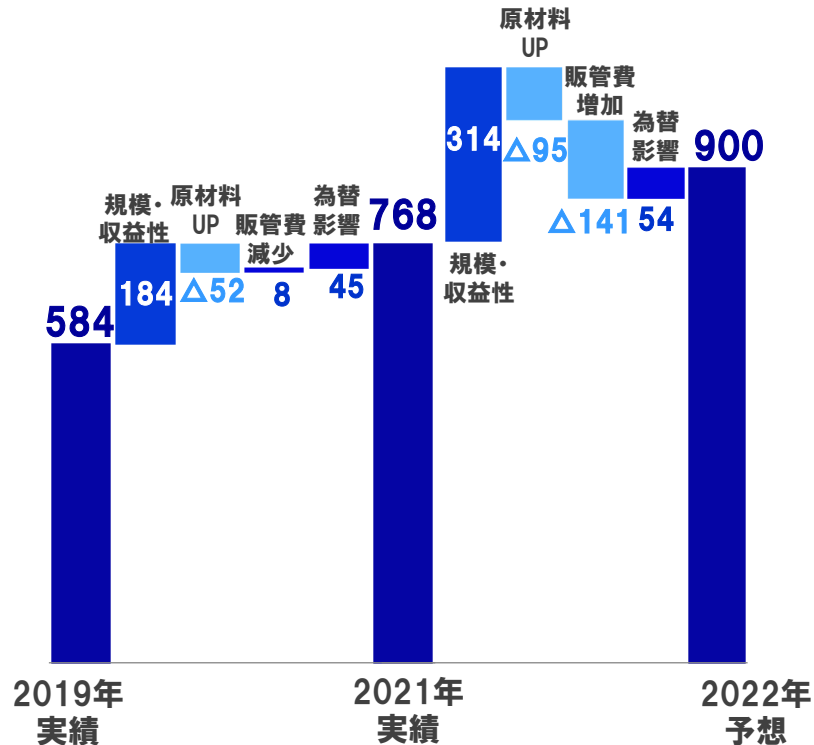
営業
 利益率 16.7% 15.4% 19.6% 20.8%

売上高
 (億円) 3,501 3,283 3,911 4,320



2019年実績 2020年実績 2021年実績 2022年予想

利益改善内訳



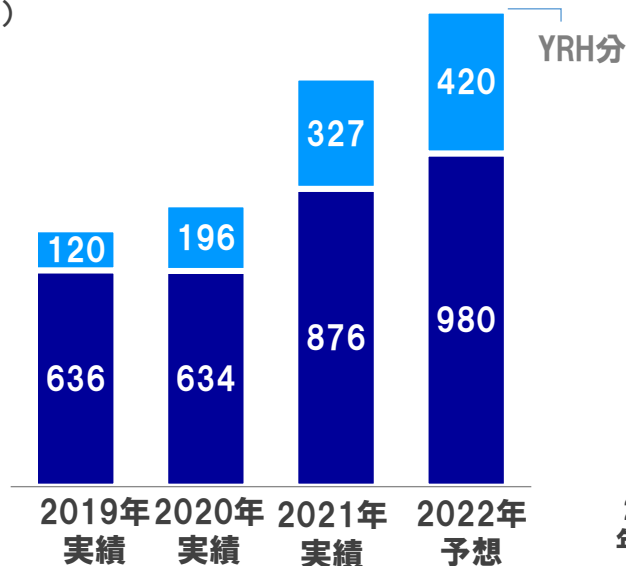
(\$/€: 109/122)(107/122)(110/130)(113/128)

ロボティクス事業

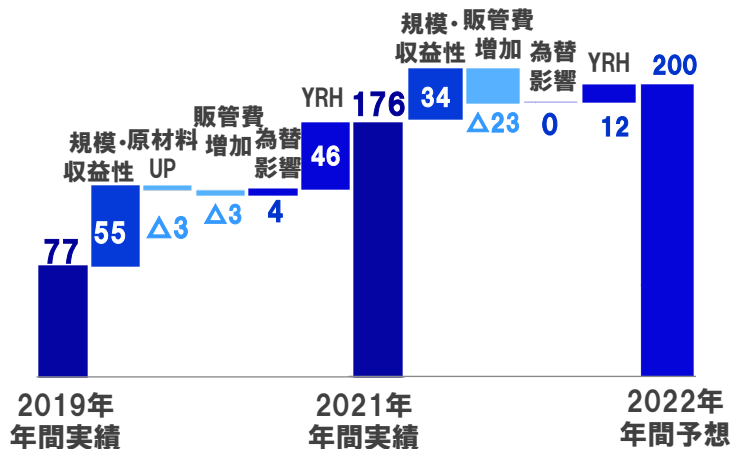
設備投資回復を背景に大幅増収。YRH黒字化達成により収益性も改善。事業統合シナジー創出で、成長を加速していく。

営業
利益率 10.2% 4.0% 14.7% 14.3%

売上高 (億円) 756 830 1,203 1,400



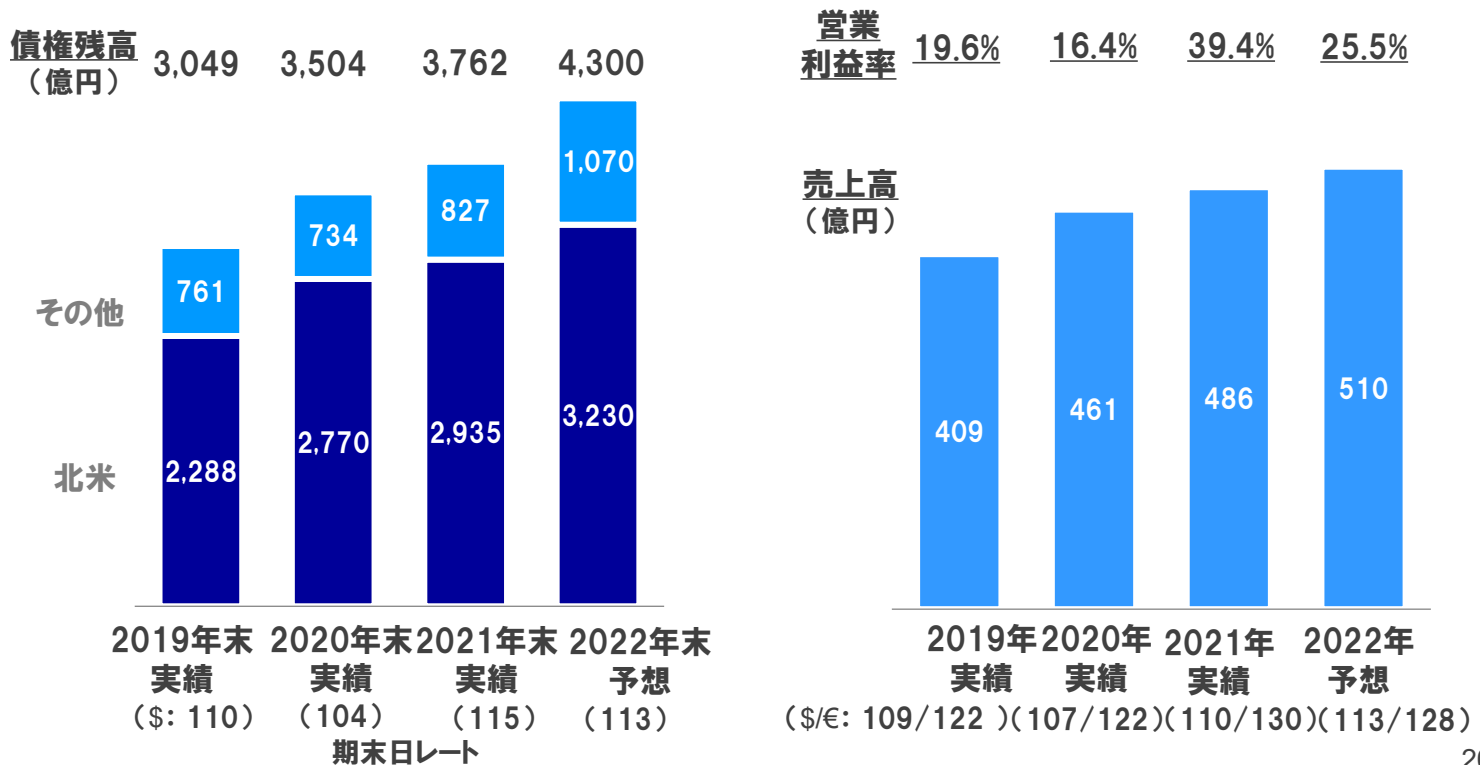
利益改善内訳



(\$/€: 109/122)(107/122)(110/130)(113/128)

金融サービス事業

債権残高は安定的に増加し、増収。一過性の貸倒引当費用減少もあり大きく増益。
2022年は卸売ファイナンス増加により、債権残高拡大が継続。





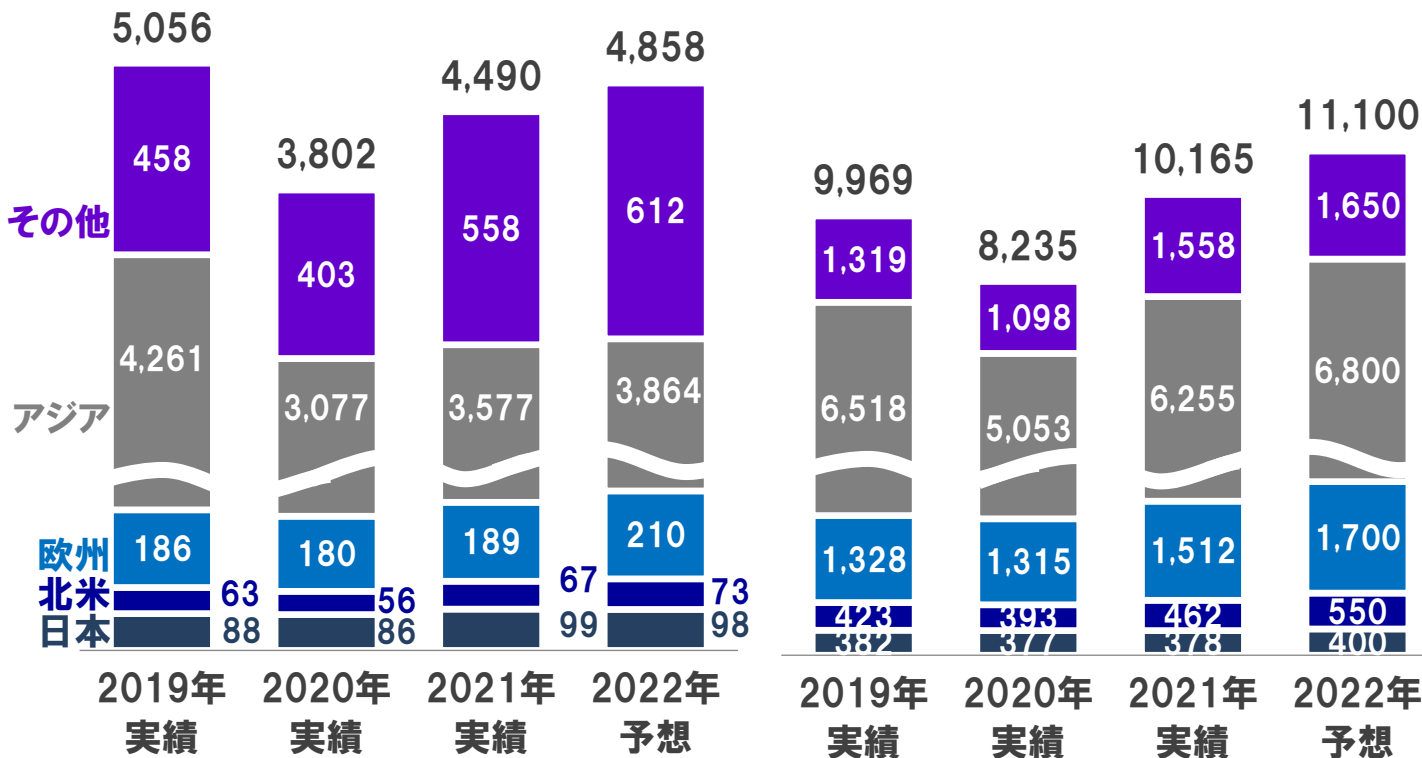
YAMAHA

Revs Your Heart

二輪車販売台数・売上高

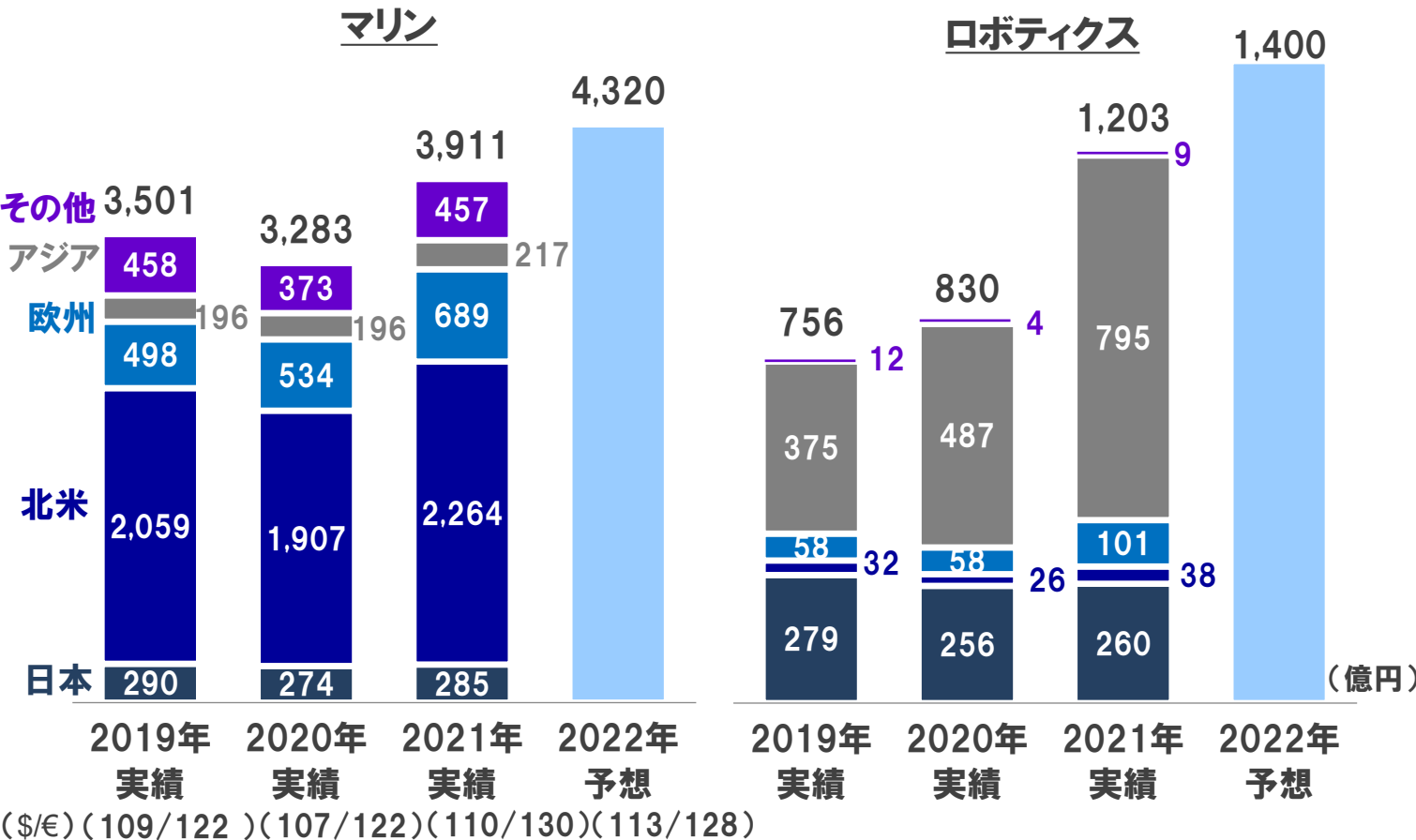
出荷台数
(千台)

売上高
(億円)



(\$/€) (109/122) (107/122) (110/130) (113/128)

マリン、ロボティクス 売上高



主要商品別 当社出荷台数（2021年実績）

先進国・中国・ブラジル、マウンターは好調な需要で2019年を上回る。

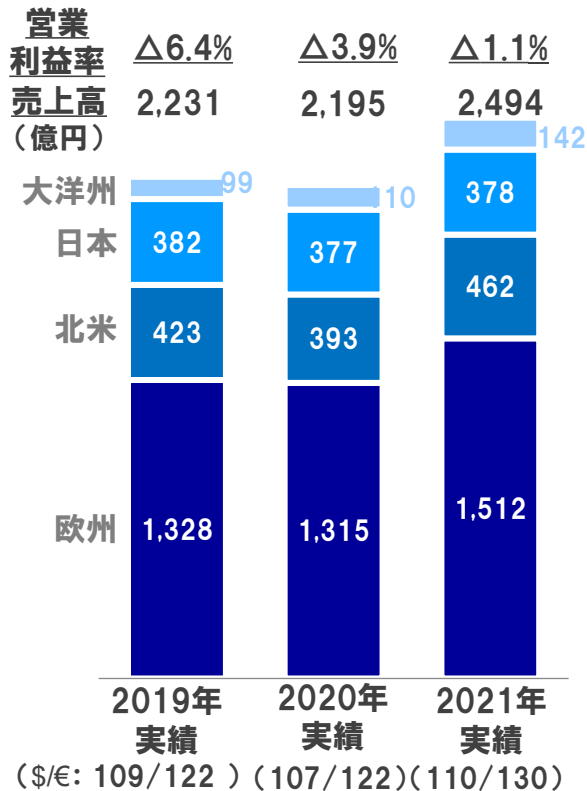
商品/地域		2020年比		2019年比	
		出荷	在庫※	出荷	在庫※
二輪車	欧州・米国・日本	110%	99%	106%	66%
	インドネシア	152%	86%	74%	53%
	タイ	111%	61%	94%	40%
	ベトナム	93%	123%	83%	109%
	フィリピン	114%	101%	76%	49%
	中国	120%	115%	140%	102%
	インド	107%	96%	87%	117%
	ブラジル	138%	118%	138%	91%
ATV+ROV	北米	126%	139%	134%	60%
PAS		123%	-	127%	-
船外機	北米・欧州	114%	129%	109%	60%
マウンター		135%	-	165%	-

※二輪車・ATV+ROVは流通在庫、船外機は拠点在庫の12月末時点台数ベース

ランドモビリティ事業 二輪車事業（先進国、新興国）

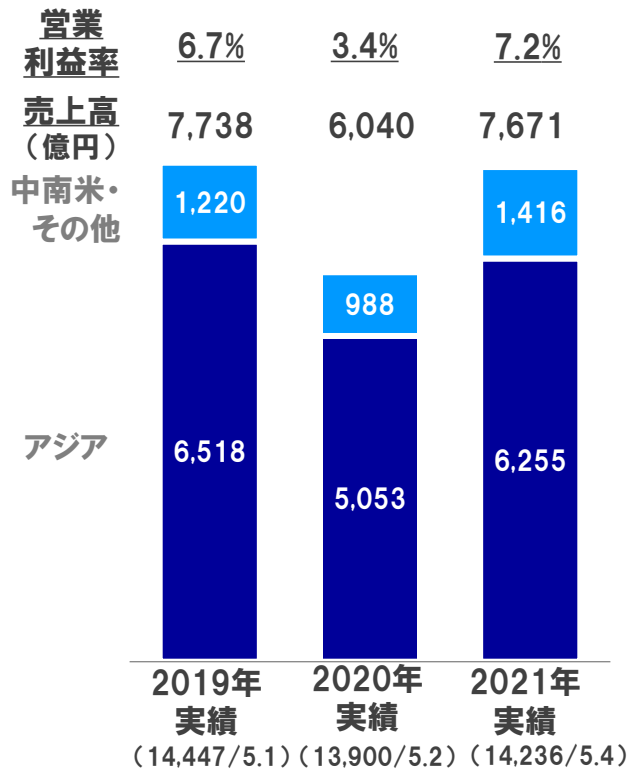
先進国

全地域で増収。
構造改革により、着実に赤字幅が縮小。



新興国

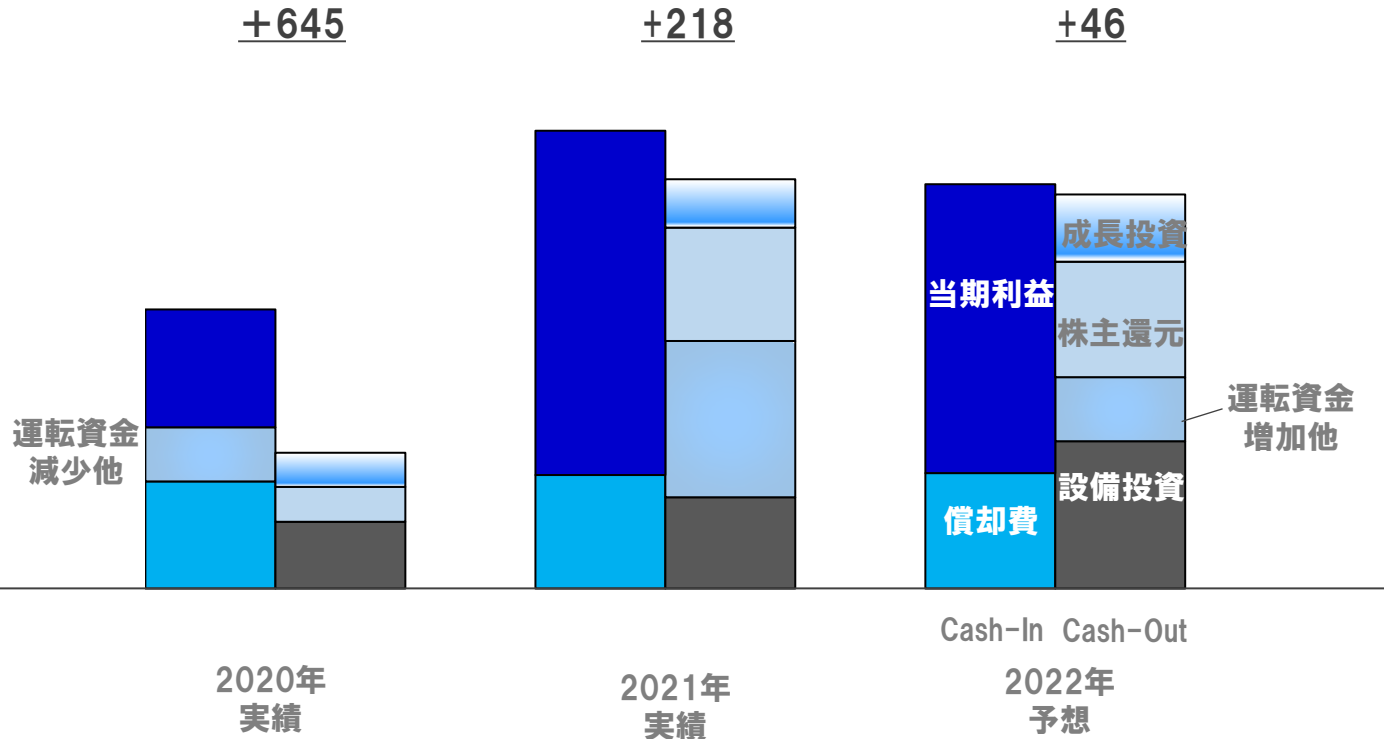
中南米好調。
プレミアム戦略推進により、ミックスが改善。



キャッシュ・フロー(販売金融除く)

株主還元に必要なキャッシュを確保しながら、戦略的に成長投資を加速。

(億円)



設備投資・減価償却費・研究開発費・有利子負債

(億円)

	19年	20年	21年
設備投資	581	538	670
減価償却費	497	482	511
研究開発費	1,020	940	953
有利子負債	3,650	4,669	4,585

為替影響（対前年）

（億円）	21年 実績（年間）				22年予想（年間）			
	US\$	EURO	その他	合計	US\$	EURO	その他	合計
本社の輸出入にかかる為替影響	38	50	28	124	65	△16	5	54
為替による仕入影響（海外子会社）	0	0	△51	△51	0	0	△14	△14
粗利益の換算影響（海外子会社）	22	37	64	122	26	△10	35	51
販管費の換算影響（海外子会社）	△17	△22	△45	△84	△16	7	△20	△29
営業利益への為替影響	43	73	△4	112	75	△19	6	63

為替感応度

1円の変動が営業利益
に与える影響額

US\$ EURO
15億円 7億円

US\$ EURO
16億円 9億円



YAMAHA

Revs Your Heart